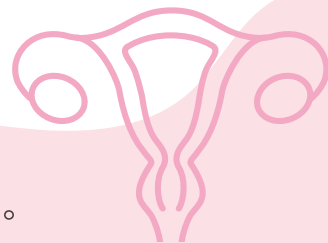




菊陽町にお住まいの20歳代の女性の方へ 子宮頸がん検診 のお知らせ



子宮頸がんは、子宮の頸部という子宮の出口に近い部分にできるがんです。

子宮頸がんは、若い世代の女性のがんの中で多くを占めるがんです。

日本では毎年、約1万人の女性がかかる病気で、さらに毎年、約3,000人の女性が亡くなっています。患者さんは20歳代から増え始めて、30歳代までにがんの治療で子宮を失ってしまう（妊娠できなくなってしまう）人も、1年間に約1,000人います。

菊陽町より

約**5,000円**の助成があります！

検診の
自己負担金

1,800円

検査費用 約**6,800円** - 助成金 **5,000円** = **1,800円**

子宮頸がん検診は助成がない場合、高価な検査です。ぜひこの機会に受診しましょう。

受診期間

令和8年6月～令和9年2月27日(土)まで

例年、受診期限が近付くと大変混み合います。お早めにご予約・ご受診ください。



子宮頸がん検診の流れ

Step1



実施医療機関に直接予約

右記リストをご覧ください。

※子宮頸がん検診は、**生理日以外で受診**してください。

Step2



受 診

医療機関で、マイナンバーカード、資格確認書などを提示。受診票提出。受診費用を支払い、受診。検査時間は15分程度。痛みはあまりありません。

Step3

結果を確認する(約1ヶ月後通知)

実施医療機関

(令和8年8月～9月末)

ちが産婦人科医院

菊陽町大字原水2951-1

TEL 096-232-9131

(休診: 木・日・祝)

菊陽レディースクリニック

菊陽町新山2-8-23

TEL 096-213-5656

(休診: 日・祝)

(令和8年6月～9月末)

池田クリニック

合志市幾久富1866-1332

TEL 096-248-8600

(休診: 水午後・土午後・日・祝)

予約は
Webのみ

別紙・検診問診票を
ご覧ください

※検診は自治体と、各医療機関が連携して行っています。精密検査の結果は関係機関で共有され、市区町村へと報告されます。また、最初に受診した医療機関と異なる医療機関で精密検査を受けた場合は最初に受診した医療機関にも後日、精密検査結果が共有されます(医療機関の検診精度向上のため)。

受診曜日や時間帯、女性医師による検診の提供など、

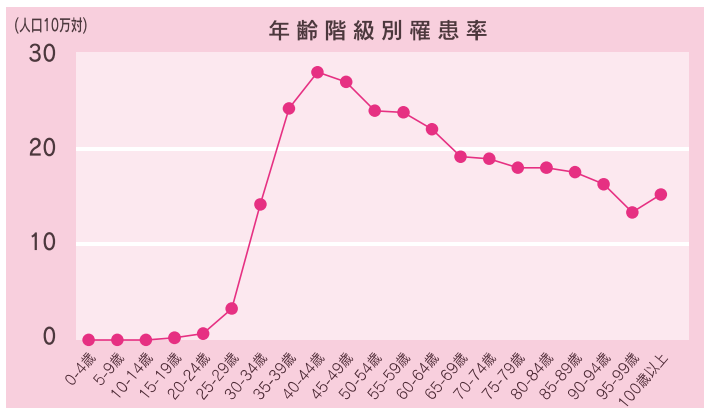
詳細は各医療機関にお問い合わせの上、ご都合にあった医療機関に直接ご予約ください。

子宮頸がんは、

20代後半以降から増え、

特に**30～40歳代**の**女性**で

近年増加傾向にあるがんです。



元データ：全国がん登録罹患データ

子宮頸がんの進行

早期のうちはほとんど**自覚症状がありません。**

0 正常



1 HPVの感染

正常な子宮頸部の細胞にHPVが感染する。

ヒトパピローマウイルス感染

ほとんどは自然に消えます0へ

2 HPVの持続感染

HPVがなくならずずっと感染した状態になる。

一部は自然に正常に戻る場合があります0へ

3 前がん病変(異形成)

がんになる手前の状態になる。

手術などの治療が必要になります

4 子宮頸がん

前がん病変からがんになる。



数年～十数年かけて進行

※HPV感染は、主に性的接触によって起こります。一生のうちに何度も起こりえます。

「特に異常はないから大丈夫」そう思っていないですか？子宮頸がんは感染から発症まで、平均5-10年かかり、早期には自覚症状がないため、「異常を感じたら」では手遅れになる場合があります。



子宮頸がん検診ってどんな検査？

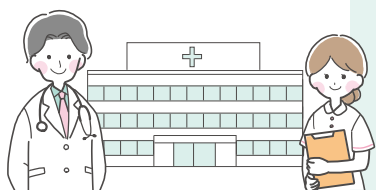
医師による**診察**と**細胞診**を行います。

検査時間は**15分程度**。痛みはそれほどありません。

検診で「要精密検査」となった場合は、その後必ず精密検査を受けてください。*
「精密検査」はがんやがん以外の病気の早期発見、早期治療につなげるための大切な機会です。

精密検査はコルポスコープ下の組織診・細胞診・HPV検査などを組み合わせて行います。

※検診では、がんでないのに「要精密検査」と判定される場合や、がんがあるのに見つからない場合もあります。



子宮頸がんは、**早期のうちに治療**すれば、**90%以上**が治癒します。

子宮頸がんが進行すると、子宮摘出手術が必要となる場合もありますが、早期のうちに治療すれば、子宮を摘出せずに治癒できるため、妊娠・出産も可能です。検診を受け早期発見・治療することにより、がんになるリスクや死亡リスクが減少します。定期的に検診を受けることが大切です。